

平成20年度第2回土佐清水市地域公共交通協議会の概要

日 時：平成20年11月17日（月） 10：00～11：00

場 所：土佐清水市天神町11-2 土佐清水市役所2階 第一会議室

出席者

委員：西村会長（土佐清水市長）、田村氏（足摺交通ハイヤー社長代理）

西村氏（竜串見残観光ハイヤー）、小松氏（高知西南交通社長）

角田氏（土佐清水市連合区長会長）、久保専門官（国土交通省四国運輸局高知運輸支局）、

岡本氏（高知県交通政策課長代理）、澤田氏（高知県地域づくり支援課）

速川室長補佐（企画広報室長代理）山田課長（観光課）、二宮課長（水産商工課）、

矢野川所長（福祉事務所）、木下課長補佐（まちづくり対策課長代理）、

酒井課長（学校教育課）、

事務局：早川主幹（企画広報室）

1 開会

2 会長あいさつ

3 議題

「1. 土佐清水市地域公共交通総合連携計画策定調査委託業者の審査結果について」

「2. 調査内容等に関する意見交換」

（事務局長代理：速川）

- ・ これまでの経過について説明

2回の幹事会で仕様書についての協議をし、総合評価方式による指名入札とした。

入札にあたっては、協議会の中に入札審査委員会を設けていなかったため、土佐清水市建設業管理審査委員会により審査した。

11月6日までに見積書の提出のあった3業者のヒアリングを13日に実施、その後、委員による採点表の集計を基に業者を選定した。

- ・ 選定業者・㈱四電技術コンサルタントの提案資料を基に、業務内容について説明。

（会長）

- ・ 提案書については、おおむねよいのではないかと。
- ・ 今の状況は、高校生、市職員、教職員が定期を購入すれば、だいぶよくなると思う。
- ・ 自家用車の減を図り、環境面にも配慮していきたい。
- ・ けんみん病院へのアクセスを考えなければいけない。
- ・ 身の丈にあった計画、という文言があるが、身の丈にあったものでよいのか。

（委員）

- ・ 西南のアンケートとは、重複しないのか。

（事務局長代理）

- ・ 西南は、住民などへのアンケート用紙を配布して回収するという方法だったので、あまり

回収率はよくないようだ。本市の場合は、住民ヒアリングを中心にしている。

内容については、西南は鉄道が中心のものだったので、まったく違うものになると思う。

(委員)

- ・ 計画への意見として、交通事業者としては、住民生活と観光の両方を考えていくべきと思っている。

高齢者免許証返納サポートについても、定期の割引2年間で延長するなど、考えている。

高校生についても、バス便の利便性を高め、定期の割引を拡大することで、バイク通学からシフトしてもらえれば。市役所もノーカードなどで協力をしてもらいたい。

料金体系の見直し、バスの乗り方教室、ICカードを導入してポイント制にするとか運賃を100円単位(切捨て)にするなど、企業努力はしていくつもり。

(委員)

- ・ 時間的に厳しいので、これからスピードアップしていかなければならない。

(会長)

- ・ 高齢者免許返納支援の拡充による返納者の増を図りたい。10%増を目指したい。
- ・ 料金、とくに定期券の割引は効果があるのではないか。通勤・通学割引や家族割引などが実施されれば、通勤手当を定期代で換算することも考えては。
- ・ とにかく、土佐清水らしいよい計画になるよう、今後ともご協力をお願いしたい。

○ 議題1. 2. ともに承認

○ 委託契約については、業者との日程調整し、速やかに締結する。

4 閉会